

【土木建設業全般について】

御社の業種 一般土木工事 一般建設工事 土木建築資材の販売等
 分類 管(設備)工事 電気(設)工事 塗装工事 重機工事
防水屋根工事 内装工事 左官工事 大工工事 建具工事
鉄骨製缶工事 外装工事 造園工事 舗装工事 鉄筋工事
基礎工事 板金工事 その他(.....)(複数回答可)

土木建設業界の将来について
 希望が持てる 現状維持 希望が持てない
 その理由(.....)

土木建設業界の業者数について
 多過ぎる 適当 少な過ぎる
 多過ぎると回答された方
 今後、淘汰されるべき 共栄共存を図るべき
 その他(.....)

【御社の業績等について】

年間工事額について
 民間工事.....万円 公共工事.....万円 工事総額.....万円

工事量の推移について(5~10年前に比べて、この1~3年)
 増えている 変わらない 減少している
 その理由(.....)

利益率について(5~10年前に比べて、この1~3年)
 増えている 変わらない 減少している
 その理由(.....)

従業員の雇用について
 増やしたい 適当 削減させたい
 その理由(.....)

従業員の給与について
 上げる予定 現状維持 上げたいが下げざるを得ない
 その理由(.....)

過当競争・低価格入札が他業種との所得格差に与える影響について
 大いにある ある ほとんどない
 ご意見があれば(.....)

事業の今後について
 拡大したい 現状維持 縮小したい 廃業を検討している
 他分野へ進出したい
 その理由(.....)

他分野への進出について
 考えていない 検討している すでに稼働している
 稼働していると解答された方：
 その規模について 一部進出 全面進出・転業
 その事業内容をお聞かせ下さい
 (.....)
 その場合、行政(県)に対してどのような支援方を望んでいますか
 1.....
 2.....

【県発注の公共事業】

工事量について

現状で適当 増やしてほしい

公共事業として県が積極的な予算を組むべき分野は

防災対策 道路整備 港湾整備 教育施設整備 河川整備

住宅関連 福祉関係施設整備 地球温暖化対策関連 (複数回答可)

その他()

ご意見があればお聞かせ下さい

【入札制度について】

一般入札と指名入札の是非について

一般入札を拡大すべき 指名入札で行うべき

(理由:)

地域要件の拡大について

拡大を図るべき 拡大を図るべきではない

(理由:)

応札可能業者数の拡大について

拡大を図るべき 拡大を図るべきではない

適切な業者数は()社程度)

(理由:)

分割発注について(工事を分割し、工事額を下げ、下位ランクにも入札機会を与える発注方式)

促進するべき 適当 促進するべきではない

(理由:)

分離発注について(工事を分野・工種別に分けて発注する方式)

促進するべき 適当 促進するべきではない

(理由:)

特定JVによる入札について(1回のみJV)

拡大を図るべき 拡大を図るべきではない

適切な業者数は()社程度)

(理由:)

経常JVによる入札について(数年前まで採用されていた入札方式)

復活させるべき 復活させるべきではない

(理由:)

等級区分による混合入札について(A B混合、B C混合など)

拡大を図るべき 拡大を図るべきではない

適切な業者数は()社程度)

(理由:)

総合評価方式について(現在、山口県は10点)

増やしてほしい 現状でよい 反対である

ご意見をお聞かせ下さい

予定価格の事前公表の是非について

1. 行うべき 行うべきではない

(理由:)

2. 入札時の応札金額について

慎重な積算を行っている 予定価格に対する%で応札している

(理由:)

3. 県が行っている積算数値について

数量的に 合っている 合っていないことが多い

(意見:)

最低制限価格制度による入札の是非について（山口県は採用していない）
（最低制限価格を公表して行う入札制度：41 県が採用している）

行うべき 行うべきではない

（理由：.....）

低入札価格による応札について

競争原理からして当然 回避するべき

（理由：.....）

低入札価格審査を受けた経験

ある ない

あると回答された方

応札工事額は予定価格の（.....～.....%で応札）

低入札価格応札した理由

工事高を上げるため ランク付け確保のため 工事確保

その他（.....）

低入札価格審査を受けての受注

したことがある ない

受注したことがあると回答された方

1．予定価格に対するパーセント（.....%で受注）

複数回ある場合（.....～.....%で受注）

2．工事原価を下げる対策

下請け工事価格の削減 工期短縮 工法の変更 資材金額交渉

その他（.....）

3．工事に対する利益

管理費を含めて利益を出した 工事原価で利益を出した

工事原価で赤字を出した 管理費を含めると赤字を出した

その程度は受注金額の.....%、予定価格の.....%）

4．工事結果に関する感想

受注するべきではない 低価格でも対応可能

（対応可能な理由.....）

低価格入札の調査基準価格について

引上げるべき（予定価格の.....%） 適切

（理由：.....）

低価格入札の判断基準額について

引上げるべき（予定価格の.....%） 適切

（理由：.....）

【入札制度について、県への要望、ご意見をお聞かせ下さい】

【土木建設業界のために県ができる支援、方策をお聞かせ下さい】

以上のアンケート結果を基に、土木建設業界の現状を知事部局と土木建設部に報告し、支援と改善をお願いします。また12月定例議会では業界支援ならびに入札問題について質問をさせていただきます。

アンケート結果・質問内容・回答については、後日お知らせいたします。

（一般質問の予定日時は12月13日（木）午後1時～です。質問者数によっては変更される場合がありますので、岡村精二のホームページでご確認下さい。議会の傍聴もできますのでお問い合わせ下さい。）